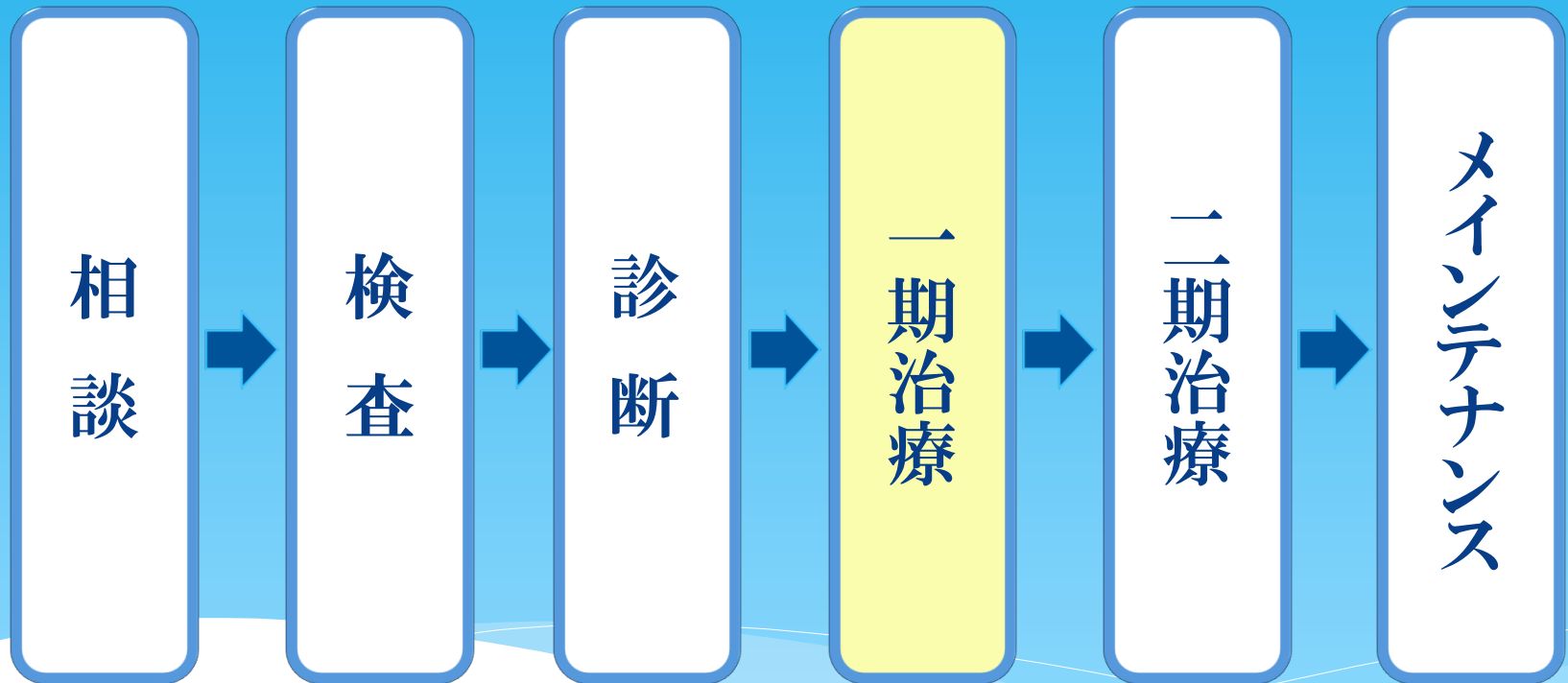


小児の矯正治療

矯正治療とは歯並び・噛み合わせの治療です

●一般的な矯正治療の流れは以下の通りです。



ここが小児矯正に該当します



歯の生え変わりと年齢

小児の矯正治療とはいつ頃行うものなのでしょうか

歯の生え変わりに応じた発育段階を分類するものとして、Hellmanの分類がよく用いられています。黄色の部分が小児矯正の治療時期に当たります。

【Hellmanの分類】		【暦齢】
IA期 乳歯萌出前	無歯列期	0歳
IC期 乳歯咬合完成前	乳歯列期	3歳 6歳
IIA期 乳歯咬合完成期		
IIC期 第一大臼歯および前歯萌出開始期		
IIIA期 第一大臼歯および前歯萌出完了期	混合歯列期	7歳～
IIIB期 側方歯群交換期		
IIIC期 第二大臼歯萌出開始期		
IVA期 第二大臼歯萌出完了期	永久歯列期	13歳～
IVC期 第三大臼歯萌出開始期		
VA期 第三大臼歯萌出完了期		

上の前歯が永久歯に生え変わった頃から開始します



そもそも矯正治療って・・・

矯正治療が必要な歯並び・噛み合わせとはどのような症状でしょうか



歯叢生

いわゆるガタガタ
永久歯が生える隙間が足りない



上顎前突

いわゆる出っ歯
上の前歯が突出している



下顎前突

いわゆる受け口
下顎が突出している



過蓋咬合

咬んだ時下の歯が上の歯に
隠れている



開咬

咬んだ時上下の前歯に隙間が
あいている



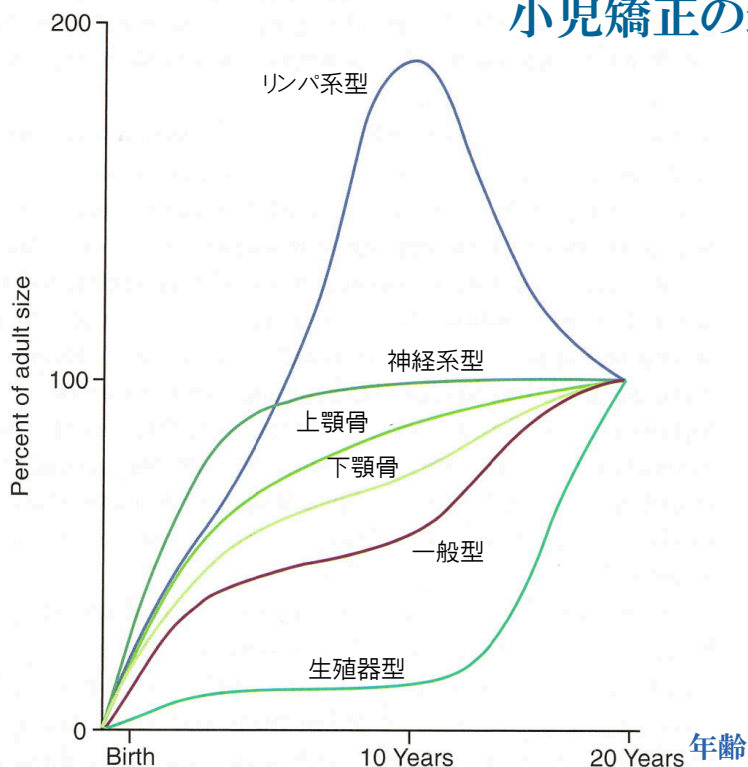
その他 (e.g.; 埋伏歯)

本来生えるべき歯が埋まったまま
生えてこない

小児矯正

小児矯正治療の特徴とはどのようなことが挙げられるでしょうか

小児矯正の最大の特徴は顎骨の成長を利用した治療であること



Scammonの成長曲線

良い点

- 骨格に起因する不正咬合を改善することが出来る
- 成長と共に咬合の変化を促すので安定しやすい
- 早期に治療することで正常な歯牙の交換を誘導することが出来る

悪い点

- 治療期間(定期的な通院)が長期にわたる

注意

小児矯正治療をすれば全ての不正咬合が完全に改善するわけではありません！！

治療例

叢生



▲治療前 治療後▼



上顎前突



▲治療前 治療後▼



下顎前突



▲治療前 治療後▼



過蓋咬合



▲治療前 治療後▼



開咬



▲治療前 治療後▼



その他(例:埋伏歯)



▲治療前 治療後▼

